

都市計画報告会

日時：11月11日(土) 15:30~17:30

発表対象：最近1年間に都市計画報告集掲載した報告のうち発表希望のあったもの

発表時間：1題目14分相当(うち質疑応答4分)

報告会①

会場：北海道大学札幌キャンパス工学部情報科学棟 2階 A22 教室

司会：土井 良浩(弘前大学大学院)

| 題目 | 著者 ○印=発表者 |
|----------------------------------|------------------------------|
| 利用者の探索回遊行動からみたショッピングセンターの空間構成の評価 | ○吉川徹(首都大学東京)・入江春乃 |
| 都市公園の運営における官民連携事業の公共性及び収益性に関する研究 | ○朴炳昊(東京設計事務所)・飯田晶子・横張真 |
| 緑化に関する条例等における定量的緑化誘導基準の特徴と課題 | ○植田直樹(三菱地所設計)・瀬島由美加・村上暁信 |
| 都市緑地の評価・認証システムに関する比較研究 | ○北脇優子(大成建設)・飯田晶子・植田直樹・横張真 |
| オープンデータを用いた深層学習による犯罪発生予測の試み | ○西颯人(東京大学大学院)・樋野公宏 |
| 前兆事案の発生と都市空間特性の係数に関する基礎的検討 | ○山村俊貴(東京大学大学院)・樋野公宏・上杉昌也・雨宮護 |
| 集合住宅における侵入窃盗の時空間的接近 | ○樋野公宏(東京大学)・雨宮護 |
| カー(井泉)の空間分布に関する調査報告 | ○森岡渉(東京大学大学院)・金洪稷・濱田貴之・樋野公宏 |

報告会②

会場：北海道大学札幌キャンパス工学部情報科学棟 2階 A24 教室

司会：志摩 憲寿(東洋大学)

| 題目 | 著者 ○印=発表者 |
|--|---------------------------|
| デトロイト市における慈善財団によるグリーンインフラストラクチャー整備支援に関する研究 | ○新妻直人(東京大学大学院)・黒瀬武史・矢吹剣一 |
| ドイツにおける多文化共生ガーデンの取り組み実態とその社会背景 | ○渡辺雄太(筑波大学大学院)・雨宮護・新保奈穂美 |
| 立地適正化計画策定に伴う面的エネルギーシステムの拡大可能性に関する研究 | ○関向直志(東京ガス)・村木美貴 |
| 駅前の低層密集商業地の再整備と余剰容積の活用に関する研究 | ○西田拓泰(東日本旅客鉄道)・遠藤薫・瀬田史彦 |
| 助成金を伴う居住誘導施策の表明選好調査による基礎分析 | ○佐藤嘉洋(熊本大学大学院)・奈須朝也・円山琢也 |
| 東京圏郊外部における持続可能な市街地形成に関する研究 | ○大工原健太(千葉大学大学院)・村木美貴・須永大介 |
| 地方都市の副拠点を対象とした空間形成計画の達成状況と課題 | ○三木裕子(東京都市大学)・村山颯人・真鍋陸太郎 |
| 人口減少都市における低密度化した居住地区の安定化施策に関する研究 | ○矢吹剣一(東京大学大学院)・黒瀬武史・新妻直人 |
| 利用距離と通勤距離のバランスを考慮すべき迷惑施設の適切な配置 | ○吉川徹(首都大学東京)・町永凌 |

報告会③

会場：北海道大学札幌キャンパス工学部情報科学棟 2階 A23 教室

司会：樋口 秀(長岡技術科学大学)

| 題目 | 著者 ○印=発表者 |
|--|----------------------------------|
| 東京大都市圏の都市部における長期空き家の実態 | ○鈴木雅智(東京大学大学院)・樋野公宏 |
| 管理不全空き家の特性と地区レベルでの管理傾向 | ○馬場弘樹(東京大学大学院)・樋野公宏 |
| 大規模集合住宅団地に居住する高齢者の歩行特性 | ○濱田貴之(東京大学大学院)・樋野公宏・薄井宏行 |
| 縮減市街地における地域コミュニティ関与による住環境マネジメントに関する一考察 地域コミュニティ関与による空き家除却跡地マネジメントに関する調査研究 | ○吉武俊一郎(横浜国立大学)・高見沢実 |
| 不動産登記情報からみた戸建住宅の開発経緯と建築ストックに関する一考察 | ○島村亮(宇都宮大学)・佐藤栄治・鹿野桃佳 |
| 地方都市における高齢者単独世帯の居住状況と孤独死の実態に関する研究 | ○池田真太郎(東日本旅客鉄道)・樋口秀・中出文平・松川寿也 |
| 地方都市における固定資産税収の将来予測と市街地集約化の効果に関する研究 | ○益子慎太郎(大日本コンサルタント)・樋口秀・中出文平・松川寿也 |
| 都市計画道路跡地の活用事例の課題の抽出 | ○星祐希(仙台高専)・小地沢将之 |

ワークショップ

日時：11月11日(土) 15:30~17:30

(1) 熊本地震における交通システムの被害と教訓 -その時何が起きたか-

日本都市計画学会九州支部 [会場：1階 A11 教室]

本WSでは、2016年4月に発生した熊本地震における交通システムの被害状況や現場の対応、需要の変化等について報告を行い、そこから得られる教訓について議論する。まず、地震の概要、公共交通、道路交通、緊急支援物資輸送、都市内交通、ビックデータからみた人の動きの各テーマについて報告を行う。その後、今回の教訓について過去の地震の場合と比較しながら討論を行う。

(登壇予定者：柿本竜治(熊本大学)・吉城秀治(福岡大学)・外井哲志(九州大学)・溝上章志(熊本大学)・池田大造(NITTドコモ)・森本章倫(早稲田大学)・コーディネーター：辰巳浩(福岡大学))

(2) グローバリ化時代の地方都市活性化を考える

- インバウンド(観光)とアウトバウンド(都市輸出)を両輪として-

独立行政法人国際協力機構 [会場：1階 A13 教室]

都市輸出(アウトバウンド)とインバウンド観光の一体の取組が今後の地方活性化の1つの鍵!

本WSでは、海外での都市づくりに貢献している地方自治体関係者、サステナブル都市の輸出に関する学識経験者と国際協力経験者を交えて、グローバル時代の地方都市活性化、官民連携や学術的探究の可能性を広く議論します。

(登壇予定者：岸井隆幸(日本大学)・城所哲夫(東京大学)・地方自治体(現在、調整中)・後藤哲司(JICA国際協力専門員)他)

(3) 都市の水辺における公私計画・マネジメントのあり方

水辺の公私計画研究会 [会場：2階 A21 教室]

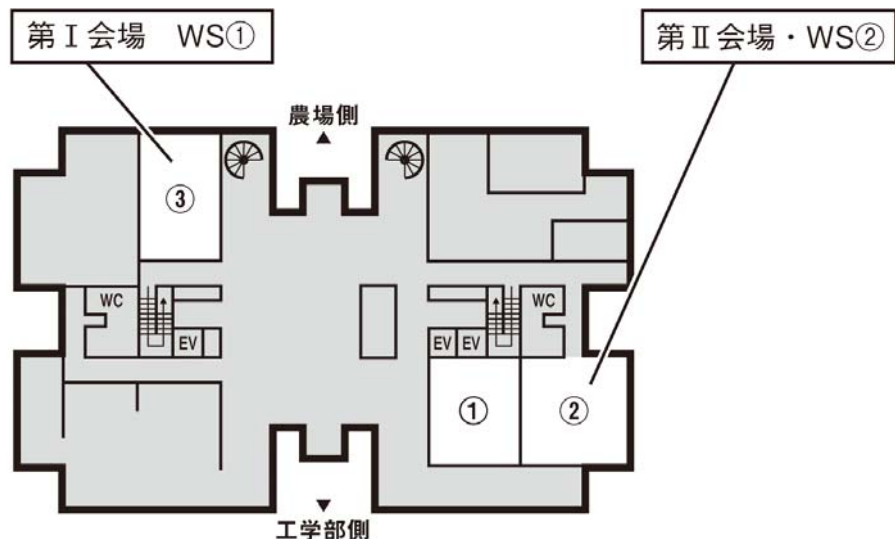
近年、都市の水辺では、行政(公)と民間(私)の連携による新たな空間利用・管理運営に向けた試みが展開されてきている。本ワークショップでは、地方都市における小河川・水路や広島県広島市「水辺のオープンカフェ」、アメリカ・ニューヨーク市「ブルックリン・ブリッジ・パーク」等の国内外の事例における水辺の現状と課題、そこに見られる空間利用・管理運営の特徴を通して、都市の水辺の新たな公私計画・マネジメントのあり方を議論する。

(登壇予定者：畔柳昭雄(日本大学)・岡村幸二(建設技術研究所)・市川尚紀(近畿大学)・菅原遼(日本大学))

会場案内

1F

- ① 実行委員会・事務局
- ② A13講義室
- ③ A11講義室



2F

- ① A21講義室
- ② A23講義室
- ③ A24講義室
- ④ A22講義室

